

# 統計調査ニュース

令和4年(2022年)12月

No.433



## 戦略的な統計利活用の推進 ～統計を国民にもっと身近に～

総務省統計局統計高度利用特別研究官 佐伯 修司

統計をもっと多くの人に知ってもらい、もっと多くの場面で役立ててもらいたい～統計作成・提供に携わる関係者共通の思いです。こうした観点から、総務省統計局では、現在4本の柱を立てて、統計の利活用推進に取り組んでいます。

第1の柱は、ユーザー視点の統計データの提供の充実です。総務省統計局では、独立行政法人統計センターとともに、政府統計を網羅した総合窓口(e-Stat)の設置・運用を行っており、掲載データの自動取得を可能なものとしていくなど、ユーザーの立場に立って改善を進めています。

第2の柱は、社会全体の統計リテラシー(使いこなす能力)の向上です。進展が著しい情報技術を活用した課題解決の基礎知識として統計が脚光を浴びています。統計局ホームページでも、なるほど統計学園など様々なレベルのコンテンツを提供し、統計学習を支援しています。また、無料で提供している社会人・大学生向けのデータサイエンス・オンライン講座は、多くの方に受講いただいています。さらに、国・地方の公務員の統計リテラシー向上・

EBPM推進のため、統計研究研修所のオンライン講座の充実を進めています。

第3の柱は、専門性をいかした多様な情報発信の推進です。統計トピックス、統計Todayなどを、年間20本程度、統計局ホームページに掲載しています。また、統計メールニュースは、会員登録をすれば、今注目の消費者物価指数の最新数値などをいち早くキャッチできます。機会があれば、統計局ホームページの閲覧や会員登録をお願いします。

第4の柱は、統計150年に係る関連事業の実施です。新型コロナウイルス感染症の影響で1年遅れとなりましたが、去る12月7日に統計150年記念式典を無事挙行できました。また、今年1月に開設した統計博物館の移設・充実は、来春の予定です。さらに、現在、統計150年史を編纂中です。

連綿と続く統計の歴史に思いを馳せると、国民の皆さんの調査への御協力と統計関係者の御尽力への感謝の念は尽きません。時代は遷っても統計の重要性は不変です。みんなの力で統計の作成・利活用の歩みを進めていければ幸いです。

### 目次

戦略的な統計利活用の推進 ～統計を国民にもっと身近に～	1	総務省統計局、独立行政法人統計センター、 和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学が データサイエンス分野における連携協定を締結しました	5
令和4年度 統計データ・グラフフェアの開催について	2	日本統計年鑑の御紹介	6
令和5年1月10日(火)開講 「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中	3	とうけい通信 ㊟	
第7回「地方公共団体における統計データ統計利活用表彰」の 受賞団体の決定	4	美味しい(んまい)山形/山形県	7

# 令和4年度 統計データ・グラフフェアの開催について

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、「統計の日」（10月18日）の関連行事の一つとして、10月29日（土）・30日（日）の2日間、新宿駅西口広場イベントコーナー（東京都新宿区）において、総務省、東京都及び（公財）統計情報研究開発センターの共催により、「統計データ・グラフフェア」を開催しました。

会場では、統計グラフ全国コンクールの入賞作品等の展示のほか、各府省の統計調査や「統計の日」の紹介を行う等、統計の大切さ、面白さを感じていただける展示を目指し、開催しました。

開催においては、各府省から、展示物及び各種統計資料について御提供をいただく等、多くの皆様の御協力を得て実施しました。一昨年から新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっておりましたが、今年度は3年ぶりの開催となり、開催2日間で約2,600人もの大変多くの方に御来場いただきました。御協力賜りました皆様に心より感謝申し上げます。以下、当フェアの様子について、紹介します。



（統計グラフコンクール入賞作品展示コーナーの様子）

## 日本の「統計の日」関連コーナー

統計の日（10月18日）は、統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の協力を得られるようにと昭和48年に閣議了解で定められました。日本の「統計の日」関連コーナーでは、「統計の日」の解説や、今年度の「統計の日」標語の入選作品一覧の展示、歴代「統計の日」ポスターの紹介等の展示を行いました。

## 各府省の統計調査紹介コーナー

来場者の皆様に国が実施する統計調査への関心と理解を深めていただくため、各府省から提供していただいた統計調査結果を活用したパネル、各種統計調査のポスター等の広報資料の展示や統計調査等広報動画の放映を行いました。展示パネルや広報動画を熱心に見られる方など、各府省の統計に興味関心を持つ方々が見られました。



（今年度の統計データ・グラフフェア リーフレット）

## 統計グラフコンクール入賞作品展示コーナー

統計グラフ全国コンクールの入賞作品及び東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県内の統計グラフコンクールにおける入賞作品を併せて170作品展示しました。

全国の小学生、中学生、高等学校・一般等、部門ごとに、世界規模の大きなテーマから身近なものを観察したテーマまで、統計グラフを用いて作成された、様々な視点による工夫の凝らされた作品を展示しました。入賞者の方やその御家族のほかにも、多くの方が来場され、熱心に御覧になっていました。



（各府省の統計調査紹介コーナーの様子）

総務省政策統括官（統計制度担当）室では、これからも、国民の皆様には統計の重要性に対する関心と理解を深め、統計調査に対するより一層の御協力を頂けるよう、引き続き、統計の普及・啓発活動に取り組んでまいります。

# 令和5年1月10日(火)開講 「誰でも使える統計オープンデータ」受講者募集中

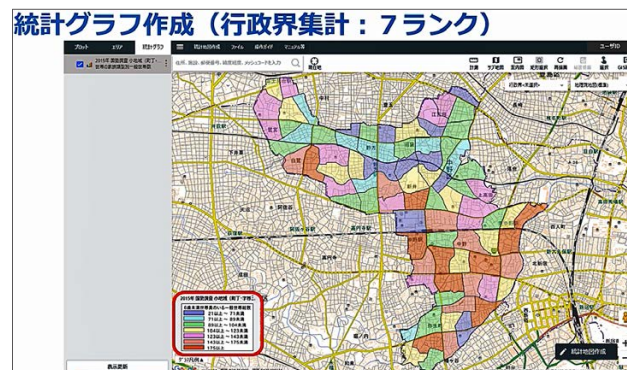


総務省は、統計リテラシー向上のための取組として、「データサイエンス・オンライン講座」を開講しています。その講座の一つである「誰でも使える統計オープンデータ」を令和5年1月10日(火)に開講します。

講座は、社会人・大学生に向けて、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説する講座です。

政府統計の総合窓口であるe-Stat、総務省統計局及び(独)統計センターが提供する、視覚的に統計データを把握できる地理情報システムやAPI機能を

使い、統計オープンデータを活用したデータ分析を学ぶことができます。



講座内では、地図で見る統計(jSTAT MAP)を活用し、基本的な統計情報を地図上に表示させたり、自動的にレポート形式で出力させたりする方法など様々な機能について学ぶことができます。

本講座は、どなたでも無料で登録及び受講が可能です。是非御受講ください。

(注) 本講座は、令和4年1月に開講した講座を再び開講するものです。

## 「誰でも使える統計オープンデータ」講座内容

週※3	各週のテーマ	内容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Stat※1の統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Statの機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	地図で見る統計(jSTAT MAP)の活用	統計データと地図を組み合わせた活用方法を学ぶ (地図で見る統計(jSTAT MAP)の機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※2の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

※1 政府統計の総合窓口 ※2 統計データを自動で取得できる機能

※3 1～4週のほか、特別講義として主要な統計データをグラフ等に加工し、視覚的に分かりやすく、簡単に利用できる形で提供する「統計ダッシュボード」(<https://dashboard.e-stat.go.jp/>)の使い方を解説しています。

- 開講期間 令和5年1月10日(火)～3月14日(火) 予定
- 学習時間 1回10分程度×5～7回程度(1週間)×4週
- 課題 各週の確認テストと最終課題の実施

詳細はこちらから ⇒ <https://gacco.org/stat-japan3/>



# 第7回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」の受賞団体の決定

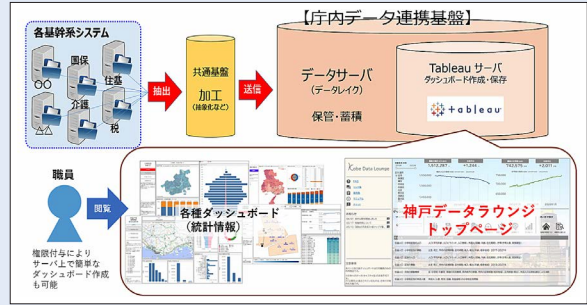
総務省では、客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進する観点から、地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、第7回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」を実施しました。

審査の結果選ばれた、総務大臣賞、統計局長賞、特別賞の各取組を御紹介します。

## 【総務大臣賞：兵庫県神戸市】 データ分析をDIY ～神戸データラウンジ～

- ✓ 蓄積した行政データから、職員向けのダッシュボードをBIツールを使用して作成。ダッシュボードの作成は、内製化により短時間で、柔軟に、コストをかけずに実現
- ✓ ダッシュボードの全庁共有で資料作成の時間を短縮。全庁的に各局が所有する行政データ利活用の機運を醸成、各レベルのデータ分析ができる人材の育成

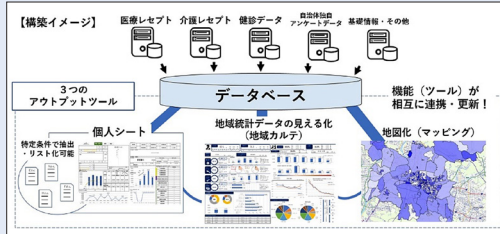
- 基幹系システムから抽出・抽象加工した行政データや国勢調査等の統計データを庁内データ連携基盤において保管・蓄積、BIツール等で分析、可視化し、ダッシュボード等として全庁で共有
- 職員はポータルサイト「神戸データラウンジ」よりダッシュボードにアクセス
- ダッシュボードの作成は内製化しており、各局の要望・ニーズ等に基づき追加、各局でもダッシュボードを作成できるように人材育成



## 【統計局長賞：岐阜県関市】 ビッグデータを使用した効果的な自治体データベースの作成と多事業展開

- ✓ 健康状態・生活状況が把握できる個人データを積み重ねデータベースを作成し、三つのツール（地域カルテ、地図化（マッピング）、個人シート）を作成 → 多事業への展開

- 地域カルテ：15行政区の統計データを集約、見える化したもの
- 地図化（マッピング）：個人データ統計、地域・社会資源の分布を地図化
- 個人シート：データを個人単位で見やすい形で構築、条件抽出



※医療関係データは厚生労働省ガイドラインに沿った目的の範囲内で利用。また、アンケートデータは市の個人情報保護条例により、本人に同意を得て利用。なお、すべての個人情報には担当課以外、閲覧・利用出来ない対応とし、分析に利用する個人情報は個人が特定できないよう匿名加工している。

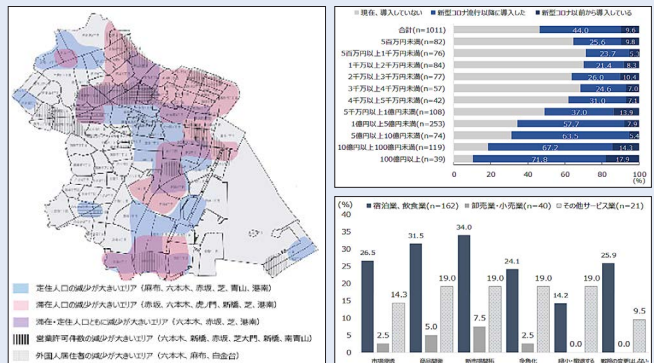
### ＜ツールの利用・組み合わせによる様々な事業への展開＞

<b>まちづくり</b> まちづくり・コミュニティづくりの基礎資料	<b>生涯学習 スポーツ文化推進</b> イベント等参加促進の効率化・イベント企画立案資料	<b>保健・福祉</b> ハイリスク者の特定
<b>高齢者支援</b> 高齢者の居場所づくりのサポート	<b>防災</b> 優先される避難行動要支援者のピックアップ	<b>行政評価</b> 安定したエビデンスによる小地域単位から可能な事業評価

- ◎ “分析した” だけで終わらせない事業・実務への活用
- ◎ 全庁的な活用によるEBPMの推進・支援
- ◎ 継続的なデータソースとして整備

## 【特別賞：東京都港区】 新型コロナウイルス感染症による港区在住者、訪問者、事業所の動向と都市機能への影響の実態に関する研究——多様なデータの活用による動態の最新動向へのアプローチ

- ✓ 多様なデータを組み合わせ地域の産業特性・人口分布と関連付けたコロナ禍による影響を可視化
- ✓ アンケート調査の個票データを用い、港区来訪者、区内在住者、区内事業所の実態・動態を詳細に捉え、さらにそれぞれのコロナ禍後の行動の見通しについても明らかにした。



左：区内メッシュの類型化分析  
 右：テレワーク導入状況（上）と今後の事業戦略（下）

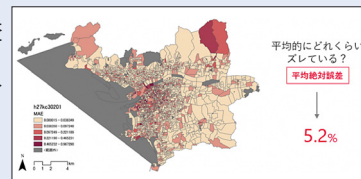
【特別賞：和歌山県】 和歌山県における空き家分布の推定

- ✓ 和歌山市が保有する行政データ及び国が保有するマイクロデータから、空き家分布を推定する機械学習モデルを構築
- ✓ 研究成果を2本の査読付き英語論文として国際誌で公表 (IFは1.34と2.57)

※IF(インパクトファクター)  
 ・ 学術雑誌の影響力を示す指標  
 ・ 過去2年間に掲載された論文の被引用状況を元に算出

2種類の空き家分布推定の機械学習モデルを構築

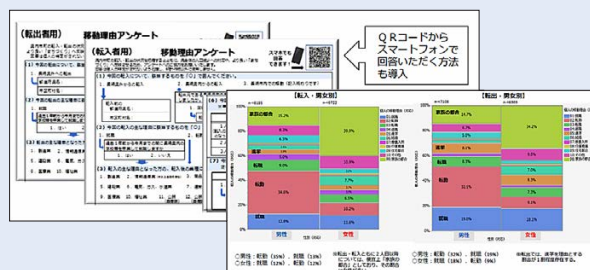
- 和歌山市の行政データを用いたモデル
    - ・ 建物ごとの空き家推定⇒予測した空き家のうち93%が実際に空き家
  - 国勢調査+空き家調査を用いたモデル
    - ・ 地域ごとの空き家割合の推定
- ⇒実際の空き家割合からの乖離は平均5.2%



【特別賞：長崎県】 長崎県移動理由アンケート調査事業

- ✓ 県内全市町に協力を依頼し、窓口でアンケート（移動理由アンケート）を実施し、転入・転出の理由等を逐次把握
- ✓ 集計結果は市町へも共有し、県及び各市町で施策の検証・立案に活用

＜移動理由アンケート＞



【移動理由アンケート分析例】  
 (移動理由別、男女別移動者数・割合 (県外・県内合計))

受賞取組の概要については、下記のウェブサイトをご覧ください。

【地方公共団体における統計データ利活用表彰のサイト】

<https://www.stat.go.jp/info/guide/rikatsuyou/index.html>

【第7回地方公共団体における統計データ利活用表彰の受賞取組】

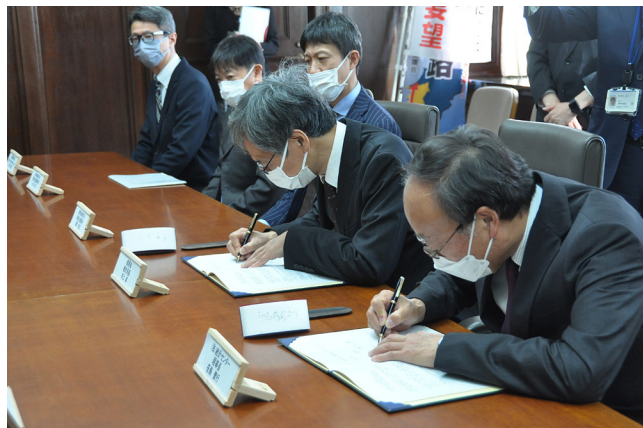
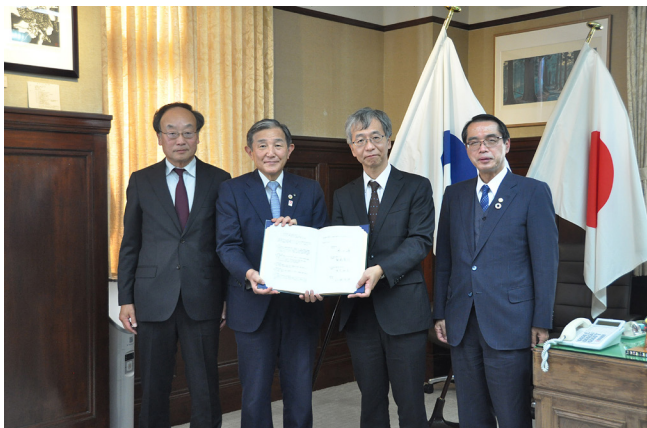
<https://www.stat.go.jp/info/guide/public/houdou/pdf/ho221018.pdf>

## 総務省統計局、独立行政法人統計センター、和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学がデータサイエンス分野における連携協定を締結しました

総務省統計局、独立行政法人統計センター、和歌山県及び公立大学法人和歌山県立医科大学は、我が国のデータサイエンス分野の発展に資する取組を推進することを目的に連携協定を締結しました。

疾病予防や健康増進の観点から、統計マイクロデータを活用した研究を進め、行政課題の解決につなげるとともに、ビッグデータから新たな価値を創出できるデータサイエンス人材を育成します。

連携協定締結式は、令和4年11月18日（金）に和歌山県庁知事室において執り行われました。



連携協定締結式の様子

# 日本統計年鑑の御紹介

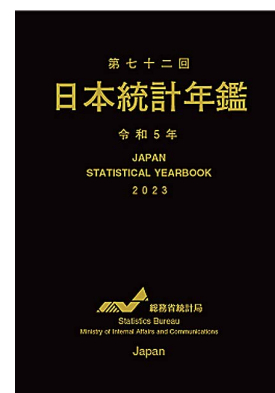
総務省統計局では、「第七十二回 日本統計年鑑（令和5年）」を刊行しました。  
また、当刊行物以外にも、統計局を始め各府省や国内外の機関が実施した統計調査の結果や業務報告などに基づく統計情報を総合統計書として編集・刊行していますので紹介します。

「日本統計年鑑」は、我が国の官公庁や民間調査機関などが実施又は作成している統計調査、業務統計及び加工統計から、国土、人口、経済、社会、文化などの広範な分野にわたる基本的な統計を、網羅的かつ体系的に収録したものです。

本書は、明治5年刊行の「辛未政表（しんびせいひょう）」を起源として、明治15年の創刊以来59回に及んだ「日本帝国統計年鑑」の流れをくむものであり、第二次世界大戦の影響で一時期刊行を停止した後、昭和24年から「日本統計年鑑」として新たに刊行を始め、その後、毎年刊行してきました。

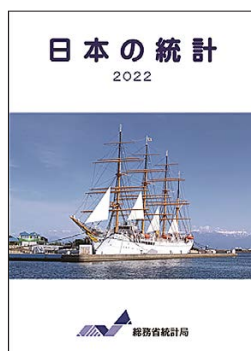
第七十二回は、30の分野及び542の統計表からなり、各章の冒頭では、統計の資料源、調査方法などについても解説しています。

国勢を総覧する総合統計書として是非御利用ください。



日本統計年鑑

「日本統計年鑑」のほかに、次の総合報告書を刊行しています。



日本の統計

我が国の基本的な統計を手軽に利用しやすく編集したものです。



世界の統計

世界各国の実情や世界における我が国の位置付けを知るための参考となる様々な統計を編集したものです。



Statistical Handbook of Japan

統計を通じ、我が国の最近の実情をグラフや写真を交えて英文で紹介したものです。



社会生活統計指標—都道府県の指標—

社会・人口統計体系において整備した基礎データを用いて作成している統計指標の中から、都道府県別の主要なデータを取りまとめたものです。



統計でみる都道府県のすがた

社会生活統計指標—都道府県の指標—の中から、主な指標値を選定し、各都道府県の指標が一覧できるように再編集したものです。



統計でみる市区町村のすがた

社会・人口統計体系で収集したデータのうち市区町村別の主な基礎データを一覧できるように取りまとめたものです。

刊行している総合統計書は、統計局ホームページにも掲載していますので御覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/sougou/index.html>

# 美味しい(んまい)山形

## 山形県みらい企画創造部統計企画課

みなさんこんにちは。山形県みらい企画創造部統計企画課です。みなさんは山形についてどんなイメージをお持ちでしょうか？さくらんぼやお米を思い浮かべる方が多いかもしれません。しかし、ほかにも山形には意外な1位があります。今回は統計データから山形県を紹介します。

家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(令和元年~令和3年平均)では、以下の14品目が全国1位(年間支出金額)となりました。

- ・ベーコン…2年ぶり
- ・さといも…13回連続
- ・たけのこ…2回連続
- ・中華そば(外食)…9回連続
- ・炭酸飲料…今回初
- ・プロパンガス…7回連続
- ・しょう油…10回連続
- ・こんにゃく…25回連続
- ・食塩…8年ぶり
- ・上下水道料…13回連続
- ・スポーツドリンク…今回初
- ・他のきのこ(まいたけ等)…3年ぶり
- ・他の乾物・海藻(ごま等)…12年ぶり
- ・他の果物(さくらんぼ等)…26回連続

山形を代表する郷土料理「芋煮」の材料である、さといも、しょう油、他のきのこ(まいたけ等)が含まれていることが分かります。炭酸飲料やスポーツドリンクは意外にも1位となりました。



なお、中華そば(外食)は令和3年(単年)では新潟市に続く2位となっていますが、2020年までの8年間は山形市が1位を守り続けていました。ラーメンの支出額が多い理由として、来客を出前のラーメンでもてなしたり、夏場に「冷やしラーメン」を食べたりする独特の文化が関係しているのではないかとされています。

また、2~3位については次のとおりとなりました。

2位	3位
中華麺	生うどん・そば
塩さけ	乾うどん・そば
ソーセージ	カップ麺
ごぼう	他の葉茎菜(山菜等)
納豆	こんぶつくだ煮
他の野菜の漬物 (青菜漬等)	食用油
	他の和生菓子(大判焼き等)
	日本そば・うどん(外食)
	ガソリン

「納豆汁」の材料となる納豆や他の葉茎菜(山菜等)がランクインしていることが分かります。納豆汁は昔から親しまれている冬の郷土料理で、納豆をすり潰してみそ汁に溶かし込んで作られます。具材は山菜のほかにもこんにゃく、きのこ、そして里芋の茎を干した「いもがら」などがあり、七草にこの納豆汁を食べる地域もあります。



3世代同居率が日本一高い山形県、冬には祖母から伝わる秘伝のレシピで特製の納豆汁を作り、家族みんなで身も心もあたたまりながら寒い季節を乗り越えます。

また、中華麺や生うどん・そば、乾うどん・そばもランクインしており、外食のみならず家庭でも麺を好んで食べていることが分かります。もう一つ隠れた山形名物「ひっぱりうどん」、是非検索してみてください。

ここまで消費といった点から山形県を紹介してきましたが、日本一きれいな空気と豊かな水の気候風土に恵まれた山形県はたくさんのおいしい農産物を生産しています。

なかでも、果物の女王と呼ばれるラ・フランス(洋なし)、りんご、ぶどう、すももやすいかといった果物は全国でも上位の生産量となっており、一年中県内各地で果物狩りを楽しむことができます。



皆さん美味しい(んまい)ものがたくさんある山形に是非遊びに来てくださいね。



# 最近の数字

		人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
		総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数	
		千人(Pは万人)	万人								%	円
実数	2022. 6	125,104	6759	2.6	451,763	96.1	32.2	276,885	736,070	101.8	101.8	
	7	P 12484	6755	2.6	376,028	96.9	P 31.4	285,313	527,343	102.3	102.3	
	8	P 12478	6751	2.5	279,346	100.2	P 30.9	289,974	457,774	102.7	102.7	
	9	P 12475	6766	2.6	276,113	98.5	P 33.0	280,999	403,991	103.1	102.9	
	10	P 12483	6755	2.6	P 275,888	P 95.9	...	298,006	469,800	103.7	103.5	
	11	P 12485	...	...	...	...	...	...	...	...	P 103.8	...
前年同月比	2022. 6	-	0.3	* 0.0	2.0	* 9.2	7.5	3.5	-1.2	2.4	2.3	
	7	-	-0.0	* 0.0	1.3	* 0.8	P 5.4	3.4	-5.0	2.6	2.5	
	8	-	0.2	* -0.1	1.7	* 3.4	P 7.2	5.1	-2.2	3.0	2.9	
	9	-	0.6	* 0.1	2.2	* -1.7	P 8.0	2.3	0.1	3.0	2.8	
	10	-	0.7	* 0.0	P 1.8	* P -2.6	-	1.2	-1.9	3.7	3.5	
	11	-	...	...	...	...	...	...	...	...	P 103.8	...

(注) P:速報値 \* :対前月  
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2022年12月~2023年1月)

### 《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
12月5日	人口・経済統計コース「経済予測」開講【集合・ライブ配信】(~9日)	1月23日	人口・経済統計コース「人口推計」【集合】(~27日)
7日	第70回全国統計大会、統計150年記念式典	27日	都道府県職員向けコース「統計データアナライズセミナー」【ライブ配信】

### 《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
12月2日	小売物価統計調査(ガソリン)2022年11月分公表	1月10日	消費動向指数(CTI)2022年11月分公表
6日	家計調査(家計収支編:2022年10月分)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部:2022年12月分(中旬速報値)及び2022年平均(速報値))公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2022年10月分)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部:2022年12月分)公表
〃	消費動向指数(CTI)2022年10月分公表	13日	小売物価統計調査(ガソリン)2022年12月分公表
13日	令和2年国勢調査に関する地域メッシュ統計(人口移動、就業状態等及び従業地・通学地に関する編成)公表	20日	人口推計(2022年8月1日現在確定値及び2023年1月1日現在概算値)公表
14日	令和3年社会生活基本調査 詳細行動分類による生活時間に関する結果公表	〃	消費者物価指数(全国:2022年12月分及び2022年平均)公表
16日	2022年科学技術研究調査結果公表	〃	小売物価統計調査(全国:2022年12月分)公表
20日	人口推計(2022年7月1日現在確定値及び2022年12月1日現在概算値)公表	27日	家計調査(貯蓄・負債編:2022年7~9月期平均)公表
22日	住民基本台帳人口移動報告(2022年11月分)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部:2023年1月分(中旬速報値))公表
23日	消費者物価指数(全国:2022年11月分)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部:2023年1月分)公表
〃	小売物価統計調査(全国:2022年11月分)公表	31日	労働力調査(基本集計)2022年12月分、2022年10~12月期平均及び2022年平均公表
26日	令和3年経済センサス-活動調査 産業別集計「鉱業、採石業、砂利採取業」、「製造業」公表	〃	サービス産業動向調査(2022年11月分速報及び2022年8月分確報)公表
〃	令和3年経済センサス-活動調査 産業横断的集計「建設・サービス収入の内訳(一次集計)」公表	下旬	住民基本台帳人口移動報告(2022年12月分)公表
27日	令和2年国勢調査 抽出詳細集計公表	〃	住民基本台帳人口移動報告(2022年結果)公表
〃	労働力調査(基本集計)2022年11月分公表		
28日	サービス産業動向調査(2022年10月分速報及び2022年7月分確報)公表		
31日	統計トピックス 「卯年生まれ」と「新成人」の人口-令和5年新年にちなんで-公表		
1月10日	家計調査(家計収支編:2022年11月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2022年11月分)公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。